研修(講座)名 	公民館等職員研修(第3回)		
期日	令和3年6月25日(金)	時間	9: 45~16 :15
会場	松江合同庁舎・リモート隠岐会場	参加者数	30名
ねらい	・事業実施に向けて、受講者それぞれが持つ不安感を共有するとともに、解決の方向性を話し合うことで実践意欲を高める。 ・事業の評価や対象者の見取りについての評価指標を考え、事業計画案を見直す。 ・事業を検証する上で必要な視点や集める情報は何かを考える。		
研修プログラム	「事業計画案についての情報交換」 【演習④】「事業を進めるにあたっての困り感の共有と解決方法の模索」		
	【講 義】「事業の評価と対象者の見取り」		
	【演習⑤】「評価指標の作成」		
	【 演習⑥ 】「事業計画案の今後の見通し」		
	【ふり返り】「気づきの共有」		
研修の様子	【講義】	ふり返り】	【演習④】 【演習⑤⑥】
参加者の感想	■毎回、じっくり考える時間をもらえるので、しっかり事業に向かうことが出来て楽しい。実行していくのは大変だと思うが、がんばっていきたい。 ■評価の部分を考えることが、より具体的に書けるようになった。他の参加者の方からの意見やアドバイスをいただくことが出来たのも良かった。もう一度ゴールの明確化と事業展開案を作り直して実施していこうと思う。つい仕事の事やつながりを意識してしまい、関係性づくりを難しくしていた事に気付いて良かった。まず、自分自身が楽しむ、ワクワクするという気持ちを大事にしていこうと思う。 ■同じ班の方やスタッフの方から、自分では考えつくことがなかった意見をいただくことができてよかった。事業に対しての不安が少し解消された。計画から当日のことまでしか考えられていなかったが、アンケートを作成してみて、評価や次につながるやる気にすることは難しいことなんだと痛感した。 ■事業の評価のポイントのところで、3点印象に残った。①公民館が目標とする基本理念等につりあっているか?②評価の視点はねらいの中で行う事③主体的な活動を促すためにアンケート等を活用する事。		